

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

No.82

平成30年1月31日(水)

文責 園田

やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

寒さに負けず…元気です！



ここのところ寒さが厳しく、日中でも気温が一けた台という日が続きます。子ども達が学校で大半を過ごす教室や廊下の気温も昨日は3℃。今日は5℃。明日は？という感じで毎日とても寒い・・・というより冷たいです。

そんな寒さの中、背を丸めて縮こまり「寒い、寒い」と言いながら「外なんて出たくない。」というのは私達大人だけかもしれません。子ども達は寒い日も、そして例え雪が舞い落ちようとも、元気に運動場や中庭で遊んでいます。走り回っています。時には、昼休みが終わって戻ってきたとき、水をかぶったかのように汗で頭が濡れている子もいたりします。(ちゃんと乾かさないと、そのせいで風邪をひかないかと心配なのですが・・・)

昔から「子どもは風の子」といいます。確かに自分自身も子どもの頃、そして若い頃は(すいぶん昔になりますが)、今ほど寒さを感じていなかった気がします。(寒くてもきっと気にならず平気だったのでしょうか。)児童玄関のホワイトボードに教頭先生が書いているメッセージにも「寒い日が続いていますが四季を感じられる日本のよさです。冬の楽しさやすばらしさを見つけてほしいです。」と書いてありました。子ども達にとって冬の寒さや冷たさ、夏とは違った空気の密度感を感じることも大事な経験であり学びの一つだと思います。昔も今も子ども達は暑くても寒くても体を動かしての外遊びが大好き！東っ子は今日も元気いっぱいです！



東っ子タイムでは、長縄跳びで体も心もポッカポカ！

29日(月)昼休み後の「東っ子タイム」では、縦割り班に分かれ、全校一緒に長縄跳びをして遊びました。連続回数を増やそうと、どの班も一生懸命。そして真剣です。うまくタイミングが計れない低学年の子には高学年や中学年の子ども達が、タイミングを計りながら声をかけたり、ポンッと背中を押したりしています。ごく自然にそんな優しい支え合いやふれあいができるところが子ども達の素晴らしいところです。そして、異学年が交流できる縦割活動のよさです。援助する方も援助される方も、そして周りの誰もが笑顔になります。みんなでふれ合いながら運動し遊んだ後は、体はもちろんのこと、みんなの気持ちもポッカポカです。

